

学習課題(小学校4年生)



【国語】

〈学習内容〉

◆「自分だけの詩集を作ろう」を学習します。

- (1) 教科書 82～83 ページにある三つの「月」の詩を読みましょう。
それぞれ、どんな月の様子が思いうかびますか。
違いを意識しながら、ノートや学習シートに感想を書きましよう。



- (2) テーマを決めて、オリジナルの詩集を作ります。インターネットや本（詩集）、教科書などにあるいろいろな詩を読みましよう。

- (3) テーマにそった詩を集め、詩集にのせるもの三つを選びましよう。

- (例)

{	・「季節」「食べ物」「自然」など、事がらに共通点がある詩。
	・ 同じ詩人が作った詩。
	・ 言葉や表現、書き方などがおもしろい詩。

- (4) 画用紙や紙を使って、オリジナル詩集（本）を作りましよう。
表紙や目次もつけましよう。（三つの詩をのせる順番も考えましよう。）
最後のページには、テーマとこれらの詩を集めた理由など、解説を加えましよう。

※本の形にするのが難しければ、ノートや取組シートにまとめましよう。

※完成したオリジナル詩集は、おうちの人に見てもらいましよう。

◆「熟語の意味」を学習します。

- (1) 教科書 84 ページを読み、「熟語」の意味を確かめましよう。
- (2) 教科書 84 ページの①に取り組みましよう。八つの熟語の意味を、訓を手がかりにして考え、ノートやシートに書きましよう。
- (3) 教科書 85 ページを読んで、漢字の組み合わせ（①～④の4種類）を手がかりに意味を考えることができる熟語について確認しましよう。
- (4) 教科書 85 ページの②に取り組み、ノートや取組シートにまとめましよう。
- ・ ①～④のどの仲間か考えましよう。
 - ・ 組み合わせを手がかりに意味を考えましよう。

- (5) 国語辞典や漢字辞典を引き、熟語の意味を確かめましょう。また、①～④に当てはまる熟語を、他にも探してみましょう。

◆「漢字の広場6」を学習します。

- (1) 教科書86ページの絵の中にある言葉を使い、一年間の出来事について、学級新聞の記事を書きましょう。
※考えた文や文章は、ノートや取組シートに書きましょう。
※3年生までに習った漢字を思い出しながら、取り組みます。
※できるだけ、たくさんの記事を書きましょう。
※間違いがないか確認し、おうちの人に読んでもらいましょう。

◆「ウナギのなぞを追って」を学習します。

- (1) 教科書87ページを読んで、学習の見通しをもちましょう。
- (2) 教科書88～95ページを読みます。自分が「すごい」「おもしろい」と感じたことを中心に感想を書きましょう。
- (3) 自分が特にきょうみをもったことは何ですか。感想をもとに、簡潔にまとめましょう。
【例】「あきらめずに調査を続ける塚本さんのすごさ」
「ウナギの生態の不思議さ」
「着実に謎を解き明かしていく調査の進め方」など
※次回は、自分が「すごい」「おもしろい」と感じたところを紹介するために、くわしく学習を進めていきます。

◆教科書（下）101～104ページで学習する漢字（標～察まで）をノートや取組シートに練習します。（読み方や書き順は、教科書159ページにのっています。）

【書写】

- (1) 書写の教科書2～5ページを読み、これまでの書写の学習を振り返りましょう。
※教科書の写真を見て、しせいや筆の持ち方をまねしてみましょう。
- (2) 教科書6～7ページを次のように学習しましょう。
①「ほ先の向き」や「筆あつ」について、始筆から終筆までを意きして、指でなぞる。
②すみを付けていない筆をもち、①と同じようになぞる。
- (3) 教科書8～9ページの「林」の学習をします。
①8ページを読み、「木」と「きへん」のちがいを見つけましょう。

※かたちに注目して、「火」と「ひへん」、「土」と「つちへん」についてもちがいを考えてみましょう。

②「林」を筆で書きます。左側の「きへん」と右側の「木」の形に注意して書きます。8ページの「たいせつ」も参考にして書きましょう。

※習字道具の用意がむずかしい人は、^{えんぴつ}鉛筆で書いてみましょう。

③学習したことを生かして、28ページ「こう筆のまとめ」の右上の「林」「畑」「土地」を鉛筆でノートや取組シートに書きましょう。

(4) 教科書10～11ページの「原」の学習をします。

①10ページを読み、「かまえ」や「たれ」の中の部分の書き方についてどのように書くか考えましょう。

※大きさや位置^{いち}に注意して、ノートや取組シートに鉛筆で書いてみましょう。

②「原」を筆で書きます。10ページの「たいせつ」も参考にして書きましょう。

③学習したことを生かして、28ページ「こう筆のまとめ」の「原」「区」「開店」を鉛筆でノートや取組シートに書きましょう。

(5) 教科書12～13ページの「雲」の学習をします。

①12ページの「雨」と「あめかんむり」のちがいを見つけましょう。

※かたちに注目して、「竹」と「たけかんむり」、「心」と「こころ」についてもちがいを考えてみましょう。

②「雲」を筆で書きます。12ページの「たいせつ」も参考にして書きましょう。

③学習したことを生かして、28ページ「こう筆のまとめ」の「雨雲」、「竹笛」を鉛筆でノートや取組シートに書きましょう。

<保護者による関わり方のポイント>※可能な範囲でお願いします。

- ・「詩の楽しみ方を見つけよう」の学習では、さまざまな詩にふれる中で自分なりにテーマを決め、三つの詩を選んで詩集を作ります。本やインターネットを用いて、複数の詩にふれることができるよう、ご協力ください。
- ・「ウナギのなぞを追って」は、次回の学習課題に続きます。読んだ文章に対してどのように感じ考えたかが、今後の学習の土台となります。何に「すごさ」や「おもしろさ」を感じているか、感想を読んで確かめてみてください。
- ・書写の学習については、これまでの学習の中で取り組んでいないページがありましたら、ぜひ取り組むように声をかけてください。二次元バーコードを読み取ると動画で筆の運びなどを視聴することができます。
- ・半紙や墨など習字道具の用意が難しい場合は、硬筆の学習に取り組んでください。